

第四十五回帝國議會
衆議院

信託法案外四件

委員會會議錄(速記)第二回

信託法案
擔保附信託法中改正法律案
不動產登記法中改正法律案
非訟事件手續法中改正法律案
所得稅法中改正法律案
印紙稅法中改正法律案
臺灣銀行法中改正法律案
臺灣銀行法中改正法律案
臺灣銀行法中改正法律案

會議

大正十一年三月一日午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長

理事

吉野小一郎君

大島實太郎君

最上直吉君

義雄君

博之君

高柳淳之君

海原清平君

山邊常重君

理事

納富陳平君

小田切磐太郎君

鈴木久次郎君

二月二十八日所得稅法中改正法律案、相續稅法中改正法律案、登錄稅法中改正法律案、印紙稅法中改正法律案、日本興業銀行法中改正法律案、臺灣銀行法中改正法律案及北海道拓殖銀行法中改正法律案ノ審查ヲ本委員ニ付託セラレタリ
出席政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 黑田 英雄君

司法省民事局長 池田寅二郎君

司法省參事官 三宅正太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

信託法案

擔保附信託法中改正法律案

不動產登記法中改正法律案

非訟事件手續法中改正法律案

○指田委員長 引續イテ開會致シマス

○黒田政府委員 昨日信託法案ノ四條ニ付キマシテ、大分御疑問ガアタヤウニ拜聴致シテ居リマシタ、ソレ故昨日ノ御尋ニ御答ヲシマス同時ニ、四條ヲ少シク詳細ニ御説明ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、サウシテ四條ヲ御説明申上ゲマシテ、次ニ當業者カラシテ陳情ニナツテ居リマス點ニ付テ、併セテ當局ノ意見ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、第四條ハ信託會社ガ信託ノ引受ヲ爲スニ當リマシテ、權利ノ移轉トカ或ハ設定ヲ受ケルコトヲ得ベキ財產ノ種類ヲ列舉致シマシテ、之ヲ限定シタノデアリマス、此列舉以外ノ財產ノ引受ヲスルコトハ出來ナイト云フコトニ致シタノデアリマス、是ハ信託法ノ第一條ニ依リマス、信託ノ目的トナルベキ財產權ニ付キマシテハ何等ノ制限ヲ設ケテ居ラナ

イノデアリマス、ソレ故ニ茲ニ四條ニ列舉シテ居リマス、以外ノ動產デアルトカ船舶デアルトカ、或ハ礦業權デアルトカ、漁業權、永小作權、地役權、著作權、地上權、特許權又ハ金錢債權以外ノ一切ノ債權ト云フ風ナ、苟モ財產權デアルマシテ權利ノ移轉方出來ルモノニ付キマシテハ、皆信託ノ目的トナルト云フコトニナラデ居ルノデアリマス、併シ營業トシテ信託ノ引受ヲナスモノニ付キマシテハ、營業デアルマセス所ノ個人ノ信託ノ場合ニ於キマシテ、委託者受託者ノ特別ノ關係ニ依リマシテ、信託ノ引受ヲ爲スト云フ事ハ格別デアリマス、是ハ營業ノ場合ト大ニ趣ヲ異ニ致シテ居ルト考ヘルノデアリマス、無制限ノ引受ヲ許スト云フコトハ、昨日モ一寸申シタノデアリマス、今日ノ經濟界ノ實際又ハ信託會社ノヤツテ居ル實際ニ見マシテモ、實際ノ必要ノ限度ヲ超過スル、又或モノニ付キマシテハ業務ノ堅實ト云フコトヲ缺イテ來ル、是ハ次ニ個々ニ付テ多少委シウ申上ゲマスガ、或モノニ付キマシテハ即チ其信託ニ依ツテ仕事ヲシテ行クモノガ、危險性ヲ帶ビテ居ルト云フヤウナコトデアリマス、獨リ委託者ニ對シテ損害ヲ與ヘルノミナラス、會社ノ固有財產ニモ損害ヲ來セヤウナ處ガアルノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ他人ノ信任ヲ受ケテ營業致ス者ニ付キマシテハ、其業務ノ堅實ト云フコトヲ眼中ニ置カナケレバナラス、營業ノ堅實ヲ缺クヤウナモノデアリ、或ハ信託業トシテ發達スル所ノ有利ナル方面ニ却テ力ヲ注グコトヲ缺イテ來テ、本來ノ目的ヲ失フ虞ガアリ、或ハ監督ノ方面カラ見マシテモ、監督ガ極テ困難ニナルト云フ風ナモノニ付キマシテハ、無論ハ此場合許サナイ方ガ却テ堅實ナ信託會社ノ發達ヲ促スモノデアアルト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、勿論制限ヲ受ケマスガ、將來經濟界ノ狀況ノ變更又ハ會社ノ基礎モ確實ニナリマシテ、會社ニシテ、經驗モ積ンテ來マシタナラバ、或ハ其範圍ヲ擴張スル時期モ來ルカモ知リマセスト思ヒマスガ、俄ニ今日實際ニ行ハレデ居ラナイ、又必要ニ迫ッテ居ルトモ考ヘラレナイモノ、強テ初カラ之ヲ認メルト云フコトハ、從來色々ノ業務ニ對シテ法規ヲ制定サレマシタ經驗ニ徴シテ見マシテモ、漸次確實ニナツテ來ルカラ其範圍ヲ擴メルト云フコトガ、却テ健全ナル發

達ヲ促スモノト考ヘルノデアリマス、サウ云フ趣意デアリマシテ、御承知ノ通り此事ニ付キマシテハ、實ニ政府ニ於キマシテモ、法制審議會ニ諮問ニナリマシタ當時モ議論ガアリマシタ、大體其趣旨ヲ以テ綱領ガ作製サレテ居タノデアリマス、ソレデ茲ニ認メタモノヲ大體申シテ見マス、今日我國ニ於テ信託トシテ認メマス一般ノ觀念、或ハ信託業ノ發達ノ程度ニ照シマシテ、最モ斯ウ云フモノガ便宜デアル、又必要ニナツテ居ルモノデアラウト認メルモノヲ擇ンダノデアリマス、又營業者ノ方カラ見テ、引受ニ依リマシテ比較ノ完全ニ信託ノ目的ヲ達シ得ルモノヲ擇ンダノデアリマシテ、又營業ト致シマシテモ信託ヲ受ケルコトガ、比較的多クアリマシテ、隨テ營利上經營ノ出來得ルモノ、又之ガ管理運用ニ付キマシテモ、比較ノ複雜デナクシテ、會社ノ營業ニ危險ヲ及ボスコトガ無ク、又信託業ガ一般ノ貯蓄銀行ト並ンデ金融機關トシテ働キヲ致シマスニ付キマシテモ、將來其方面ニ發達ノ傾向ヲ持ッテ居ルト云フ風ナモノヲ擇ンダノデアリマシテ、此規定ハ引受ヲ致シマス際ノ信託財產ノ限定シタノデアリマス、ソレ故ニ引受ケマシテ後、之ヲ運用管理若クハ投資致シマスル爲ニ、其結果取得致シマス財產ニ付キマシテハ、勿論此以外ノモノガアルノデアリマス、ソレ等ハ例ヘバ金錢ノ信託ニ付テ見マス、金錢ノ信託ヲ受ケマシテ之ヲ運用致シマス上ニ於テ、或ハ不動產ヲ取得スル、或ハ有價證券ヲ取得スル場合ニ依ツテハ此所ニハ掲ゲテアリマセスガ動產ヲ取得スル場合モアル、又土地ノ信託ニ付キマシテモ、其土地ヲ管理運用致シマス上ニ於テハ、其土地カ田地方アリマシタナラバ、小作ニシテ米ヲ穫ル其米ト云フモノガ直ニ信託財產ニナルト云フヤウナ事ガアリマシテ、必シモ之ヲ列舉シタモノニ限ラナイノデアリマス、併シソレハ金錢デアレバ如何ナルモノデモ出來ルカト申シマス、之ニ付キマシテハ一條ノ免許ヲ受ケマシテ、業務ノ種類方法ヲ記載シタ書類ヲ添付サセマシテ業務ヲ詳細ニ規定スル積リデアリマス、無制限ニ之ヲ運用スルコトハ勿論認メマセス、今日認メナイ所ノ危險ナルモノ、是ハ後ニ御話ヲ申上ゲマスガ、サウ云フモノニ運用スルコトハ勿論許サナイ積リデアリマス、ソコデ一二三四ニ付

キマシテ簡單ニ申上ゲテ見マス、金錢ノ信託、是ハ將來十分發達スル見込ガアルト思フ、今日新シキ有力ナ會社ニ於テハ隨分此方ニ力ヲ用キ居ルヤウニ思フ、是ハ銀行ノ預金ト異ナリマスシテ、一定ノ利子ヲ取得スルコト云フコトガ目的デナク、運用ニ依リテ得マシタ所ノ利得ヲ收益スルコトガ本旨ナリデアリマスガ金錢ノ信託ニ付キマシテハ、銀行ノ貯金トハ性質ガ違フト云フコトハ今申上ゲタ通りデアリマスガ、隨テ其管理方法ニ付キマシテモ、又整理ノ方法ニ付キマシテモ、銀行ノ預金トハ全く別個ニ之ヲ取扱ハセル積リデアリマス、即チ金錢ノ信託ヲ受ケマシテ、銀行ノ預金デアリマスレバ、ソレダケノ債務ヲ銀行ガ負ウテ居ルダケ其運用ハ如何ナル所ニ用キルカト云フ事ハ之ヲ見マスル事ガ出來ナイノデアリマス、ケレドモ、信託會社ニ付キマシテハ今日其金ガ何ニナッテ居ルカ、或ハ郵船株ニナッテ居ルカ、或ハ何處カノ土地ニナッテ居ルカ、ソレヲ賣タ代金ガ幾ラ現金ニナッテ居ルカト云フコトヲ、ズット跡ヲ追ッテ十分ニ知リ得ルヤウニ個別的ニ計算ヲ致ス積リデアリマス、隨テ銀行ノ預金トハ其取扱ガ大ニ違フノデアリマス、此金錢ノ委託ヲ致シマスル場合ニ、其運用方法ヲ指定スル委託指定ヲスルト云フコトハ、是ハ信託ノ本來ノ性質カラ見テ一番多イ譯デアリマスルガ、場合ニ依リマスルコト云フ、其用途ヲ指定セズ、運用ノ方法ヲ指定セズニ信託スルト云フ場合モアルノデアリマス、サウ云フ場合ニ付キマシテハ、是ハ英吉利ノ如キハ非常ニ其運用ニ付テ嚴格ナル規定ヲ設ケテ居リマスルヤウデアリマスガ、是ハ唯會社ガ自由ニ之ヲ運用スルト云フコトハ許サナイ積リデアリマス、之ニ付キマシテ信託法ノ第二十一條デアッタカト記憶致シマスガ、信託財産タル金錢ニ付キマシテハ、其運用ノ方法ヲ勅令ヲ以テ定メラルト云フ規定ガアルノデアリマス、即チ此場合ニ於キマシテハ、最モ之ヲ確實ニ安固ニ、決シテ受益者ニ損害ヲ及ボス虞ガナイト云フ方法ヲ選ビマシテ、ソレニ限ッテハ運用ヲ許ス積リデアリマス、併シ委託者ガ用途ヲ指定シマシテ委託シマシタ場合ニ於テハ、勿論之ニ從フベキデアリマスシテ、其指定ニ對シテ特定ヲシテ——昨日モ一寸申上ゲマシタガ、取引所ノ株ヲ運用シテ呉レ、或ハ郵船株ヲ買テ運用シテ呉レト云フ場合モアルノデアリマス、又之ヲ有價證券ニ放資運用シテ呉レ、或ハ不動産ニ放資運用シテ呉レ、或ハ不動産擔保ノ貸付ニ運用シテ呉レト云フヤウナ、特定ハアリマセスガ指定致ス場合モアルノデアリマス、此場合ニ於キマシテハ勿論其指定ニ從ッテ運用ガ出來ルノデアリマス、ソレカラ次ニ此第二ノ有價證券デアリマスルガ、有價證券ハ是モ金錢ニ次ギマシテ信託ノ業務ノ目的トシマシテ、相當將來發達ハシテ行クモノデアアラウト考ヘマスガ、此有價

證券ノ種類ニ付テハ、別ニ制限ヲ加ヘテ居ラナイノデアリマスカラ、一般ノ有價證券ト解シ得ベキモノハ勿論信託ノ引受ノ目的トナルノデアリマス、此場合ニ信託ヲ致シマスルカ、或ハ信託ヲシテ其會社ノ名義ニシテ適當ノ時期ニ賣却シテ貰フ、或ハソレヲ信託ヲシテ置イテ、ソレカラ生ズル配當利益等ヲ年々受益者ガ貰フトカ、或ハ場合ニ依リマス、是ハ後ニ事業ノ信託ノ事ニ關聯致スモノデアリマスカラ、株式ノ名義ヲ書替ヘテ株主權ヲ行ハシムルト云フコトヲ目的トシテ信託ヲスル場合モアルヤウニ考ヘルノデアリマス、是ハ此頃能ク世間ニ行ハレテ居リマス矢張有價證券信託ト云フコトハ、必シモ今申シタヤウナ信託ノ觀念ニ適合シテ居ル所ノ信託デアルト云フコトハ言ヘナイヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレハ有價證券ノ所謂信託ハ、今日ノ所謂信託ヲ受ケタ者ハ、其證券ニ付テ之ヲ區別的ニ整理シテ居ルノデアリマス、殆ド消費貸借ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、其信託ニ付キマシテ、或ハ其物ニ付マシテ、決シテ區別的ニ整理ヲセズ、全く自分ノ財産ト同ジヤウニ運用シテ、受託者ニ一定ノ料金ヲ支拂ッテ居ルト云フニ過ギナイノデアリマス、其故ニ是等ハ茲ニ謂ヒマス所ヲ有價證券信託ト云フコトハ出來ナイヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ次ニ金錢債權デアリマス、是ハ債權ノ取立ノ目的ニ出ル場合モアリマスルシ、或ハ管理ノ爲ニ致ス場合モアルノデアリマスガ、是等モ或ハ場合ニ依ルト云フテ、取立テ、ソレカラ後金錢信託ヲスルト云フ、或ハソレヲ以テ他ノ不動産有價證券ノ信託ニ代ヘルト云フヤウナ目的ニ出ヅル場合モアルダラウト思フ、次ニ四ノ土地及其ノ定著物、ソレカラ地上權及土地ノ賃借權、是等ハ土地定著物トシテハ主トシテ家屋ガアルノデアリマスルガ、或ハ此立木ノヤウナ物モ含ムノデアリマス、是等ノ物ハ不動産、土地管理、家屋ノ管理ヲ委託シテ、ソレカラ生ズル所ノ收益ヲ受益シヤウト云フ考ヘデ信託スル場合ガ相當ニ多クアラウト考ヘルノデアリマス、其故ニ地上權土地ノ賃借權ト云フヤウナモノモ、主トシテ家屋ヲ所有シ、又家屋ヲ建設スルコトヲ目的トスル場合ニ於テ、初テ信託ノ目的ニ供セラルル場合ガ多イト考ヘマス、其故ニ是等ノモノヲ認メテ居ルノデアリマス、是デ大體茲ニ掲ゲテアルモノノ説明ヲ申上ゲタノデアリマスガ、茲ニ無イモノハ、ドウ云フモノデアアルカト申シマスト、即チ認メナカッタモノハ、不動産特ニ商品デアルトカ、或ハ船舶デアルトカ、工業權トカ、漁業權或ハ特許權、著作權、永小作權ト云フヤウナモノガアルノデアリマス、併シ是等ノモノハ、此財產トカ商品ノ信託ト云フヤウナモノハ、多ク販賣トカ買入ノ爲ニスル場合デアアルガ、是等ノ用途ハ問屋トカ或ハ委託販賣トカト云フヤウナ業務トシテ、十分ニ其

目的ニ達スルノデアリマス、之ヲ特ニ信託ト認ムルト云フコトハ、今日ノ實際カラ見マシテ其必要ハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ特許權トカ、工業權トカ船舶デアルトカ云フヤウナモノニ付キマシテ、是ハ其財產ヲ信託シマスル目的ハ、ソレニ依ッテ繼續業ヲ營ムトカ、或ハ工業ヲ營ム、或ハ漁業ヲ營ムト云フヤウナ業務ヲ、信託會社ガ自ラ營マナケレバ、實際其目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、故ニ是等ノ事業ノ經營ヲ目的トスルコト云フ信託ヲ認ムルコトハ、是ハ一般ノ此事業經營ト云フモノノ信託ニ就テ申述ベマスガ、唯タ是等ノ漁業權デアルトカ、工業權デアルトカト云フモノハ、往々ニシテ不確實ナル場合ガアルノデアリマス、隨テ其經營上思ハザル損失ヲ被ル場合モ多イノデアリマス、是ハ孰レモ此事業ノ經營ト云フモノヲ目的トシナケレバ達シナイノデアリマス、此事業ノ經營ノ所デ尙ホ申上ゲルコトニ致シマス、此永小作權ノ如キモ其性質上耕作ヲスルコトカト云フ風ナ一ツノ事業ヲ目的トシテ居ルノデアリマスカラ、是等モ事業ノ經營ト云フ所ニ於テ申述ベル方ガ便宜デアアラウト考ヘマス、此事業經營、之ニ付キマシテハ、信託協會ノ陳情ノ中ニモアルノデアリマス、信託協會ノ陳情ノ第一ガ事業ノ經營ノ信託ヲ認メラレタイト云フコトニナッテ居リマス、其故ニソレニ對スル意見ト併セテ申上ゲマス、此事業ノ經營ノ信託ト申言葉ハ、此協會ノ陳情ノ中ニモ理由ガ書イテアリマスガ、餘リ明瞭デハナイノデアリマス、是ハ信託ノ關係カラ言ヒマシテモ、財產權ノ設定移轉ト云フモノガナケレバ、信託ニナラヌノデアリマス、其故ニ單純ニ或ル仕事ヲシテ呉ルト云フ信託ト云フモノハ、法理上認メラレナイノデアリマスカラ、或ル財產權ノ設定移轉ニ依リマシテ、ソレヲ管理運用スル結果、事業ノ或ルモノハ信託法ニ於テモ認メラレテ居リマス、其故ニ事業ノ經營ト申シマスモノハ、財產權ノ移轉ヲシテ、ソレノ管理ヲ生ズルモノデナケレバナラヌノデアリマス、是ハ或ル範圍ニ付テハ勿論此信託業法ニ於テモ認メテ居リマス、土地ノ信託ヲシテ隨テ其土地ヲ貸ス、或ハ家屋ノ信託ヲシテ其家屋ヲ貸ス、或ハ其處ニ家屋ヲ建築シテ之ヲ賃貸スルト云フ風ナコトガアルマス、或ハ田畑ニ於キマシテハ、ソレカラシテ收穫ヲ得ルト云フコトガ或ル程度ニ於テ勿論認メラレマスガ、廣ク事業ノ經營ト云フコトニナッテ來マス、賣フスル、或ハ製造工業ヲスルト云フコトニナッテ來マス、ト、ドウシテモ所謂財產權ノ移轉ト云フコトニ付キマシテ、包括シタ一ツノ財產權ノ移轉ヲ認メナケレバ、其目的ヲ達スルコトガ困難デアアラウト思ヒマス、其點ハ司法省ニ説明ヲ願フコトガ適當デアリマスガ、左様ナ譯デアリマスカラ、信託法ノ上カラ見マシテモ、完全ニ事業ノ經營ヲ信託スル

コトハ困難ニアリマス、所謂信託設立ヲスルトカ、或ハ合併變更等ニ關スル諸般ノ調査等ノ事務ヲスルトカ云フヤウナコトハ、是ハ能ク事業ノ信託ト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、併シ是ハ法律上信託ト云フ觀念ニハ入ラヌノデアリマス、其故ニ茲ニ事業ノ經營トシテ、協會ノ陳情ノ中ニモアリマス、信託會社ノ營業上現ニ存在セル債權ヲ保全スル爲、特ニ債務者ノ有スル事業ノ經營ヲ受託スルニテラザレバ、其目的ヲ達シ難イ、或ハ債權關係ノ有無ニ據ラズ、特ニ法人組織ノ事業ニ於テ、經營者ト株主間ニ紛議ヲ生ジ、爲ニ其事業ノ目的ヲ達シ難イ場合ニ於テ、一時其事業ノ經營ヲ第三者タル信託會社ニ託シテ、紛議ノ解決ヲ待ツ、或ハ事業經營者ガ、法律ノ作用ニ依リ、業務ノ執行ヲ停止セラル、場合ニ於テ、裁判所ヨリ其業務ノ執行ヲ信託會社ニ命ズル、或ハ業務ノ遂行中、其經營者ガソレニ必要ナル能力ヲ缺クニ至ツタ場合ニ、其事業ノ經營ヲ信託會社ニ委託スルト云フヤウニ理由ヲ擧ゲテアリマス、是等ヲ見マス、必シモ信託デナクとも、或場合ニ於テ工場ガ擔保ニナツテ居ルモノガ廢止サレタト云フヤウナ場合ニ於テキマシテ之ヲ管理スルモノニ必シモ信託ニ依ツテヤル必要ガナイト考ヘマス、又事業ノ經營ヲ裁判所カラ命ゼラルト云フコトガナイノデアリマスカラ、是ハ出來得ナイト思ヒマス、經營者ガ不適當ノ爲ニ信託會社ニ託スルコトハ亞米利加アフリカモ行ハレテ居ルト聞イテ居リマスガ、此場合ニハ前ニ申シマシヤウニ、株式ノ信託ヲ致シマシテ、詰リ大株主權ヲ信託會社ニ與ヘテ、信託會社ガ自己ノ見所ニ依ツテ或ハ人ヲ更ヘ、或ハ組織ヲ變ヘテ、サウシテヤラセル、之ヲ大株主權ノ働キトシテヤルト云フ風ノコトハ、能クアルデアリマス、是等ナラバ勿論今度ノ信託會社ニ於テモ出來ルノデアリマス、ソレノミナラズ此事業ノ經營ヲ認メル、信託會社ノ名ニ於テ或ハ製造工業ヲスルトカ、曩ニ申シマシタ鑛山ノ經營ヲスルトカ云フコトニナリマス、ト云フト、是等ノ業務ハ往々ニシテ危險ヲ伴ヒマス、其事業ノ成敗ハ獨リ此受託者ニ不利益ヲ來スノミナラズ、信託財產ニ損益ヲ及ボスコトガ總テハ受託者ノ固有財產ニ影響スルノデアリマス、即チ事業ノ關係ニ付テノ債權ニ付テハ信託會社ハ信託財產ダケデ其債務ヲ免カルコトガ出來ナイノデアリマス、其事業ノ經營ノ爲ニ非常ナル缺損ヲ來スト、信託財產ハ無クナツテシマヒマス、其上ニ債務ガアリマスレバ、信託會社ハ自ら自己ノ資産ヲ以テ辨濟ヲシナケレバナラヌノデアリマスカラ、非常ニ信託會社ノ資本ニ危險ヲ及ボシマス、信託事業ニ非常ナ危険ヲ及ボスノデアリマス、其故ニ信任ヲ本トシテ營業ヲシテ行ク所ノ信託會社ニハ、斯ノ如キ危険ナル業務ヲ認メルト云フコトハ、不適當デアラウト考ヘ

マス、事業ノ中ニモ、中ニハ或ハ將來ニ於キマシテ漸次會社ノ基礎モ確立シ、又會社モ十分ナル經驗ヲ持ッテ來ルコトニナリマシタナラバ、中ニハ認ムベキモノデアラウト思ヒマスガ、今日俄ニ總テノ信託會社、總テノモノニ對シテ知識ヲ持ッテ居ルト云フコトハ困難ナコトデアリマシテ、所謂財界ノ「デパートメントストア」ト云ハレテ居リマシテモ、一朝ニシテサウ云フ風ニナルモノデアナイ、漸次ニ其等ノ方面ニ明ルクナツテ來テ、色々ナ調査機關ガ揃ッテ來テ、仕事ヲシテ行クコトニナルト云フ順序デハナイカト考ヘマス、其故ニ今日實際カラ見マシテモ、事業ノ信託ト云フコトヲ、營業科目ニ掲ゲテ居リマス所デモ、實際ノ事業ノ信託ト云フコトガアルノデアリナイ、今日迄事業ノ信託ト云フコトハ、未ダ殆ど行ハレテ居ラナイト申シテ宜シヤウナ狀況デアリマス、今日俄ニ事業ノ信託、又斯ノ如ク會社ノ基礎ニ危險ヲ及ボスヤウナモノヲ認メルト云フコトハ、必要ガナイヤウニ考ヘルノデアリマス、殊ニ此協會ノ陳情ニアリマスルコトハ、何モ信託ヲ認メズトモ十分ニヤツテ行ケル、若クハ此株式ノ信託ニ依ツテ十分ニ仕事ヲシテ行クコトガ出來ルト考ヘテ居リマス爲ニ、四條ノ制限ヲ設ケタ次第デアリマス、尙ホ附加ヘマシテ是ハ今四條ノ說明デアリマスガ、更ニ進ンデ信託協會ノ陳情ニ對シテ、ソレ等ノ點ニ付テ簡單ニ辯明致シテ置キマス、第一ニ此信託協會ノ陳情ノ前ニ、今同ノ業法ニ付テデハアリマセス、業法ノ稿ヲサレマス前ニ於テ、所謂法制會議會ノ稿ヲ付テ、意味デアリマスカラ、多少違フテ居ル所モアリマスガ、却テ信託業ノ發達ヲ阻碍スルモノデアッテ、角ヲ矯メテ牛ヲ殺スノ過チニ陥ルモノデアルト云フヤウナコトヲ言フテ居リマスガ、此事ハ昨日モ十分ニ申上ガタ積リデアリマス、決シテ角ヲ矯メテ牛ヲ殺ス譯デハナイノデアリマス、寧ろ其病源ヲ除イテ健全ナル發育ヲ促サウト云フ譯デアリマス、其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、第二ニ述ベテ居リマスノハ、第一ハ事業經營デアリマスガ、第二ハ附屬業務トシテ更ニ左ノ業務ヲ營マシメラレタキコト、一、有價證券ノ賣買又ハ貸借ノ媒介ト云フコトヲ擧ゲテアルノデアリマスガ、有價證券賣買、貸借ノ媒介ト云フモノハ、往々ニシテ此取引所類似ノ行爲ニナルノデアリマス、從來サウ云フ嫌ヒガアツタ所モアルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ之ハ認メルコトハ不適當デアルト云フ考カラ除イタノデアリマス、第一方保險事務ノ仲介或代理、第三企業ノ調査及設計ト云フヤウナコトガアルノデアリマス、是等ハ或ハ必シモ不適當デアルト云フコトモ言ヘナイカト思フノデアリマスガ、大體ニ於テ今日信託會社ガ營ンデ居ル所ノ業務ハ、昨日モ御手許ニ差上ゲマシタヤウニ、非常ニ廣汎ニ亘ッテ居ル

ノデアリマシテ、信託會社トシテ從來ハ信託觀念モ定ラズ、隨テ各種ノモノヲ信託ト云フ觀念ノ中ニ纏メテ、廣汎ナル仕事ヲ行ッテ居、タノデアリマス、ケレドモ、信託觀念ガ定ッテ業體ガ明カニナツテ參リマシタナラバ、ソレニ適當ナル範圍ニ仕事ヲ限ルト云フコトガ最モ必要デアラウト考ルノデアリマス、又實際ニ於テ今日餘リ無イ仕事ヲ認メルト云フコトハ、前ニモ申シマシタヤウニ、今日ノ狀況カラ見マシテ不必要ナルノミナラズ、却テ信託會社ノ本體ノ本質ヲ失ハシムルト云フ危險モアルノデアリマス、成ベク不必要ナルモノハ省クト云フ趣意カラ除イタノデアリマス、保險事務ニ付キマシテモ、保險ノ仕事ヲ信託會社ガ受ケテヤルトナレバ、保險事務ノ經營ヲスルト云フコトニナルノデアアルカラ、是ハ事業經營ニ付テ大體事業ノ經營ハ認メナイト云フ趣意カラ致シテ、是ハ認メルコトハ出來ナイノデアリマス、又單ニ保險金受拂ヒトカト云フ事ニナリマスレバ、債權ノ取立債務ノ履行ト云フ風ナル事ニ依ッテ、今度ノ信託業法ニ於テモ認メラレ得ルノデアリマス、此企業ノ調査及設計、是モ必シモ將來ニ於キマシテハ、或ハ不適當デナイカト思フノデアリマスガ、今日信託會社ニ於キマシテ、斯ノ如キ會社ガ萬能ニ色々ナル仕事ノ調査ヲシテ設計スルト云フ風ナコトハ、初カラ之ヲ期スルコトハ困難デアラウト考ヘマス、是モ今日ニ於テサウ實際ニ於テ行ハレテ居ルト云フコトモ承知シテ居ラスノデアリマス、是等モ先ヅ信託業者ノ發達ノ狀況カラ見テ、控除シテ差支ナイモノデアラウト思フテ除イタノデアリマス、ソレカラ第四ハ信用ノ保證デアリマス、信用ノ保證ト云フ言葉ハ非常ニ廣イヤウデアリマスガ、是ハ或場合ニ於テハ此信用狀ノ發行ト云フ事ニデモナリマスレバ、是ハ爲替業務ニナツテ來ルヤウニ考ヘル、是ハ銀行業務ト混淆ヲ來スコトニナル、今日爲替ノ業務ハ銀行ニ非ラザレバ許シテ居ラスノデアリマス、是モ認メルコトハ出來ナイノデアリマス、然ラバ身元保證ノ如キモノニ致シマスレバ、是ハ信託會社ヲ致スト云フコトハ適當デナカラウ、寧ろ債務ノ保證ト云フ範圍ニ限ッテ然ルベキモノデアルト云フ考カラ致シマシテ、五條ニ債務ノ保證ヲノミ認メタノデアリマス、次ニ會計ノ検査、會計ノ検査ト申シマスルノハ、所謂英吉利アタリノ會計士ト云フヤウナモノデアラウト思フノデアリマスガ、是ハ將來ニ會計士法ト云フヤウナモノガ制定デモ致シマシテ、ソレ等ニ權利義務ノ業務ト云フモノガ法律的ニ認メラレマシテ、ソレ等ノ検査ノ效果ト云フモノガ法律的ニ認メラレマシタ曉ニ於テハ、又考究スベキ問題デアラウカト思フノデアリマス、ケレドモ今日之ヲ認メタ所デ、法律的ニ何等效果ノ無イモノデアリマス、是ハ却テ法律ガ會計検査ト云フモノヲ認メズ、

會計士法ト云フモノ無イトキニ於テハ、非常ニ效果ガ學
ヲス處ガアルノデ、是ハ到底認メルコトハ出來ナイト考ヘ
ルノデアリマス、次ニ大藏大臣ニ許可ヲ受ケタル代理事務
ト非常ニ廣ク規定ヲサレテ居ルノデアリマス、是ハ業法ニ
於キマシテハ、左ノ事項ニ關スル代理事務ト云フノデ事項
ヲ認メテ居ルノデアリマス、是ハ相當廣ク認メテ居ルノデ
アリマスガ、其以外ニ代理事務ト云フコトハ餘リニ廣汎ニ
耳リマシテ、大藏大臣ノ認可ト申シマシテモ、信託業者トシ
テ今日實際ニ行ハレ、又必要デアラウト云フモノハ業法ニ
認メテ居ルノデアリマスカラ、更ニソレヲ擴張メルト云フコトハ
必要ノナイコト、考ヘルノデアリマス、ソレガ代理業務ノ
要求デアリマス、第三ニ資金運用ニ關シ、左ノ方法ヲモ認メ
ラレタキコト、一、不動産ノ取得、不動産取得ニ付キマシテハ
昨日モ數回申シマシタヤウニ、是ハ認メナカッタノデアリマ
ス、第二、動産其他確實ナル擔保アル貸付、是ハ資金ノ運用ニ
付キマシテハ、昨日モ申シマシタル通り貯蓄銀行等ヨリモ餘
程寬大ニ其運用ノ範圍ヲ認メテ居ルノデアリマスカラ、更
ニ其上ニ確實ナル擔保アル貸付ト云フヤウナコトノ廣汎ナ
ル規定ヲ置キマシテ、自由ナル運用ヲ認ムルマデノ必要ハ
ナカラウト思フノデアリマス、第三ガ確實ナル引受又ハ裏
書アル手形ノ買入、是ハ業法ニ於キマシテ認メテ居ルノデ
アリマス、是ハ信託協會ハ業法ノ公表ニナラナイ前デアッタ
ノデアリマス、此點ハ採用致シテ居ルノデアリマス、業法ニ
於キマシテハ銀行又ハ信託會社ノ引受アル手形ノ買入ト云
フノガ、ソレニ當ルノデアリマス、第四ハ供託金ヲ全廢スル
カ、然ラザレバ之ヲ輕減セラレタキコトト云フコトデアリ
マスガ、之ニ付キマシテハ昨日モ供託金ノ事デ御話申上ダ
タノデアリマス、亞米利加邊リニ於キマシテモ、ソレ等ノ制
度ヲ認メテ居ルヤウデアリマス、是等ハ信託會社ノ信託法
ニ依リマシテ、其官吏ノ失當カラ招來シタル損害ヲ補填
スル所ノ義務ヲ帶ビサセマシタ以上ハ、相當ナ擔保ヲ徵シ
テ置クト云フコトガ必要デアラウト考ヘル、之ヲ全廢スル
コトハ勿論出來ナイ、全廢出來ナケレバ輕減ト云フ要求ガア
リマスガ、是ハ十分ノ一ニシテ百萬圓ニ限テ居ルノデアリ
マスカラ、寧ろ輕キニ失スルヤウニ吾々ハ考ヘテ居ルノデ
アリマス、第五ハ特殊ノ社債發行權ヲ認メラレタキコトト
云フコトデアリマスガ特殊ノ社債發行權ト申シマスガ、商
法ハ御承知ノ通り、拂込資本金ノ限度迄、社債ノ發行ヲ許
シテ居ルノデアリマスガ、ソレヨリ進ンデ或ハ農工銀行
トカ勸業銀行トカ、興業銀行デアルト云フヤウニ、資本ノ
何倍カノ發行ヲ認メテ貰ヒタイト云フ要求デアリマスガ
元來信託會社ト云フモノハ、信託ヲ受ケマタ所ノ財産ヲ安
全ニ有利ニ管理シヤウト云フコトガ職務デアリマシテ、唯

附隨事業トシテ擔保トシテ持ッテ居ル所ノ資本ニ危害ヲ及
ボスコトナク、或種ノモノ、而モ手數料、即チ信託ニ基イテ
行フヤウナ附隨業務ヲ認メテ居ルノデアリマスカラ、事業
會社ノ如ク自ラ各種ノ事業ヲ經營シテ行クベキ所ノ性質ノ
モノデハナイノデアリマス、隨テ寧ろ社債ハ發行スベキモ
ノデナイノデアリマス、銀行ハ御承知ノ通り社債ノ發行ハ
許シテ居ラスノデアリマス、ソレト同ジヤウニ、信託會社ニ
ハ社債ノ發行ヲ認ムベキモノデナイト考ヘテ居リマス、第
六ハ未拂込増資ノ方法ヲ認メラレタキコトト云フコトデア
リマスガ、是ハ今日保險會社ニ認メラレテ居リマスカラ、信
託會社ニモ認メラレタイト云フノデアリマスガ、是ハ商法
ニ於テ拂込ガ濟マナケレバ増資ハ認メナイト云フコトニナ
リテ居ル、特ニ此例外ヲ茲ニ認メルト云フ必要モナイト考ヘ
マス、却テ未拂込ノ儘増資スルト云フコトハ、往々ニシテ商
法ガ之ヲ禁ジマシタル所ノ弊害ヲ惹起スルコトニナリマス、
又必シモ未拂込金ガ我國ノ今日ノ現狀ニ於テ、確實ナル資
産デアルト云フコトハ困難デアアル、却テ拂込デアル所ノ
資本ノ方ガ確實デアラウト思フ、ソレ故ニ信託會社ニ之ヲ
認メル必要ハナカラウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、
第七ハ銀行業ノ兼營、少クモ其一部ヲ信託業務トシテ營
マシメラレタキコト、是ハ銀行業兼營ヲ許サナイト云フコ
トハ前ニ申上ダグト考ヘルノデアリマス、此書イデアリマ
ス、理由ガ甚ダ不明デアリマシテ、誤解ヲ懷カレテ居ルノデ
ナイカト自分ハ考ヘテ居ル、即チ銀行ニハ擔保付社債ノヤ
ウナモノヲ認メテ居ル、銀行ノ方ガ信託業ノ範圍ヲ犯シテ
居ルニ拘ラズ、信託會社ニ銀行業ノ範圍ヲ認メナイト云フ
コトハ不公平デアルト云フヤウナ意味デアリマスガ、是ハ
附隨業務ニ付テハ、或物ハ銀行デモ營マレル、信託會社デモ
營マレルノデアリマシテ、銀行業ノ本體、信託本ノ本體ガ
異ナルノデアリマス、附隨事業ニ付テハ御互ニ自由デアリ
マスカラ、此點ハ何等カノ誤解デナイカト考ヘルノデアリ
マス、ソレカラ第八ハ特ニ申上ゲルマデモナイコトデアリ
マス、大體ソレダケガ信託會社ノ陳情ノ點デアリマシテ、右
申サヤウナ理由ノ下ニ或物ハ認メテ居ルノデアリマスガ、或物
ハ認メナカッタヤウナ次第デアリマス、ドウシテモ今日ノ信
託會社ハ前ニモ申シマシタル通り、色々廣イ仕事ヲシテ居
リマスカラ、法規ガ定リマスレバ自然ニ窮乏感ズルコトハ
免レナイノデアリマス、併ナガラ今日營ンデ居リマス所ノ
廣イ業務、ソレノミヲ營ミマスニ付テハ、決シテ此業法ハ何
等拘束ヲ加ヘナイノデアリマス、法規ヲ制定スル上ニ於
テ法規ノ無イ以前ニ廣キ仕事ヲシテ居ッタモノハ、多少ノ
窮乏感ズルコトハ是ハ免レナイコトト考ヘテ居ル次第
デアリマス

○池田政府委員 只今信託ノ目的ニ關シマシテ、信託法ニ牽
連シタル事項ガ御説明中ニアリマシタニ依ッテ、其御説明ヲ一
應私ヨリモ補ッテ置キタイト思ヒマス、ソレハ事業經營ニ關
スルコトデアリマス、信託法ノ第一條ニアリマスヤウニ、信
託法デ以ッテ信託ト申シマスノハ、財産權ヲ對手方即チ受託
者ニ移轉致シマシテ、サウシテ其移轉ヲ受ケタル者、即チ受
託者ヲシテ一定ノ目的ニ從ッテ其財産ノ管理又ハ處分ヲ爲
サシムルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ説明
書ニモ書イテアリマス通り、一定ノ目的ト申シマスモノハ、
別ニ法律上何等ノ制限ハナイノデアリマシテ、公ノ秩序ヲ
害セズ善良ノ風俗ニ悖ラナイ、即チ公益ニ害ノ無イモノデ
アリマスレバ、如何ナル事項ヲ目的ト致シマシテモ、此信託
ト云フモノハ出來ルト云フ趣旨ニナッテ居ルノデアリマス
カラ、其財産ノ管理處分ノ目的トスル所ハ、當事者ノ自由ニ
依リマシテ、如何ナル事項デモ宜イデアリマス、或ハ其財産
ノ收益ヲ以テ子弟ノ教育ニ充テルトカ、或ハ之ヲ以テ教育
ノ獎勵ニ充テルトカ、色々アリマセウガ、孰レニ致シマシテモ、
別ニ公益ニ害ガアリマセウ以上ハ、信託トシテハ差支ナイ
ノデアリマス、隨テ其財産ノ管理處分ノ目的ガ、事業ノ經營
ニアリマス場合ト雖モ、矢張同様に結果ニナルノデアリマ
シテ、信託法ノ方カラ申シマスレバ別ニソレヲ差止メテア
ル譯デハナイノデアリマス、唯銀行局長モ申サレマシタ通
リニ、單純ニ財産ノ管理處分ト云フコトハ土臺ニセナイ、單
純ニ或事務ヲ委託スルコトト云フコトハ、是ハ本法ノ信託デ
ハナイノデアリマス、併ナガラ或一定ノ財産ト云フモノヲ
與ヘテ、サウシテ之ヲ一定ノ目的ニ從ッテ管理處分スベシ
ト云フコトニナリマシタ以上ハ、其目的ハ事實ノ經營ニ
在リマシテモ、此本法ノ信託ト云フモノハ適合致シマス
趣意デアリマス、但シ或ル事業ノ經營ヲ目的トシテ、信
託ヲ設定致スニ付キマシテハ、財産ノ一括移轉ト言ヒマ
スカ、或ハ包括ノ讓渡ト言ヒマスガ、詰リ或ル權利義務
ヲ一括致シテ之ヲ移轉スルト云フ途ヲ開キマセウケレ
バ、或ハ事業經營ヲ目的トシテ信託ヲ致シマシテモ、其信託
ニ於テ稍、不便ヲ感ズルト云フコトハアルデアラウト思ヒ
マス、デ現行法ニ於キマシテハ、此契約ヲ以テ財産ヲ包括的
ニ移轉スルト云フコトハ、マダ認メラレテ居リマセウデ、商
法ニ於ケル營業ノ讓渡ト云フモノハ、稍、之ニ類シテ居
リマスガ、此場合ト雖モ、個々ノ權利ノ讓渡、或ハ個々ノ義務
ノ引受ナリト云フコトニ相成ルト云フコトニナッテ居リマ
シテ、他ノ立法例ニアリマスヤウニ、一括シテ——之ヲ一個
ノ意思表示デ以テ一括シテ全體ヲ移轉スルト云フコトニハ
ナッテ居ナイト云フコトデアリマス、此途ガ開ケマスレバ、
事業經營ヲ目的トシテ信託ヲスルニ付テ、餘程便利デア

ト云フコトハ認メテ居ルノデアリマスガ、併シハ民法ナリ、商託ナリノ一般ノ法則ニ待ツベキコトデアラウ、特ニ信託ノ爲ニ信託法ニ於テ其途ヲ開クト云フ趣旨ノモノデハアリマス、又必シモ是ハ信託ノ目的ニ限リテ利用セラルルモノデナイノデアリマスカラ、民法商法ノ原則の規定ニ於テ、ソレガ開カレルノヲ待ツノガ至當デアラウト云フコト、其點ハ特ニ茲ニ規定サレナカッタノデアリマス、稍々不自由ハアルカモ知レマセスガ、併ナガラ或ル財産權ト云フモノヲ對手ニ、詰リ受託者ニ移轉シマシテ、或ル事業ノ經營ヲ爲サシムル、其目的ヲ以テ信託ヲスルト云フコトハ、信託法ニ於キマシテハ別ニ差支ナイコトデアリマス、唯業法ハ事業ト云フ方ノ見地カラ、只今銀行局長ヨリ申サレテ居リマス通り、趣旨ニ依テ法律上詰リ業法上之ヲ範メルト云フコトニ相成ッテ居ル次第デアリマス、一寸其點ヲ明カニ致シテ置キタイト思ヒマス

○吉野委員 私カラ昨日御尋シマシタコトニ、黒田局長カラ段々ノ御説明ガアリマシテ、本案制定ノ當局ノ御考ノアル所モ略々諒解致シマシタ、尙ホモウ少シ詳細ニ伺フテ置キタイト思ヒマス點ハ、元來私共ノ考ヘマスル所デハ、信託業ノ發達ハ從來之ニ對スル取締ガ寬デアッタト云フヤウナ點カラ、存外短イ年月ノ間ニ相當ノ成績ヲ見ルヤウニナッタトモ思ヒマスガ、又一面ニハ我が經濟界ノ種々ノ機關ノ缺陷ヲ補フ、而モ實際ノ需要ニハ極ク適シテ居ルト云フヤウナ點カラモ、相當ノ發達ノ理由ガアツタヤウニモ考ヘラレマス、殊ニ海外ニ於ケル事業家ノ活動ノ機關トシテハ、今日各植民地内ニ於テ、大抵特別銀行ガ中心ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ申上ゲル迄モナク、甚ダヤカマシイ規定ガアリマシテ、個々ノ需要ヲ十分滿タスト云フコトガ、十分出來テ居ラヌヤウデアリマス、サレバト云フ、各地方ニ於ケル地方銀行ハ資力モ甚ダ不十分デアリマスシ、又之ヲ經營スル人モ甚ダ思ハシクナイド云フコト、現狀ニ於テハ甚ダ海外ニ於ケル事業ノ方面ニ於テハ、廣ク言ヘバ金融機關ニ不足ヲ告ゲテ居ルノガ實際デアルヤウニ思ハレル、サウ云フ點ニ於キマシテハ、信託會社ノ活動ト云フコトハ段々必要ヲ認メラレテ參リマシテ、現ニ内地ニ於ケル信託會社デモ將來ハ支店ヲ出シテ活動ヲサセルト云フヤウナ計畫モアルヤウニ聞イデ居リマスシ、又其等ノ地方ニ於テモ信託會社設置ノ計畫モアルヤウニ聞イデ居リマス、其等ノ必要ヲ考ヘマスルト、今御提案ニナツテ居リマス、此信託業法ノ各條項ハ、ドウモ尙ホ甚ダ範圍ガ狭キニ失シテ居ハセスカト云フ感ジガ多イノデアリマス、例ヘバ此資金運用ノ方法トシテ列記シテアル事項ノ中ニハ、不動産又ハ法令ニ依リテ設定シタル財團ヲ抵當トスル貸付ト云フ規定ガアリマスガ、先

刻局長カラノ御説明デアリマシタ確實ナル貸付、確實ナル擔保アル貸付ト云フヤウニデモサレルナラバ格別デアリマスガ、是等モ非常ニ貸付ノ範圍ヲ狭メラレテ、非常ニ不便デハナイカト云フノモ懸念ノ一ツデアリマス、殊ニ滿洲ニ於キマシテハ、或ハ商租權ト云フノモアリマスシ、其他森林ノ伐採權ト云フノモアリマス、而モ是等ノ方面ニハ相當今日マデ資本ヲ取ラレテ居ルノデアアル、之ニ對シテ銀行ガ貸付ヲスルト云フコトハ、種々ノ場合ニ於テ問題ニナリマス、其結果ハ或ハ事業ガ途中デ挫折スルトカ、是ガ能ク發達ヲ見ルコトガ出來ナイト云フコトヲ屢々聞クノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點モ相當信託會社ト云フヤウナ方面デモ考ヘマセスト、今後ニ於テ十分ナル發達ヲ見ルコトガ出來ヌト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ海外ノ事業家ト云フヤウナ方面ニ對シマスル點ニ付キマシテハ、本案制定ニ付テ何等ノ御考慮モ御拂ヒニナツテ居ラナカッタノデアリマスガ、ソレトモ或ハ此信託業法ガ、直ニハ内地ダケニ限ルト云フヤウナ御話デアリマスガ、何レ植民地内ニモ及ブコトデアラウト思ヒマスガ、今ヨリ其邊ノ御考ヲ相當ニ御持ニナツテ御制定ニナツテ置ク方ガ便利デヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、其等ノ點ニ付テ今日マデ御注意ニナリマシタ點ガアリマスガ、御伺シテ置キタイト思ヒマス、サウ云フヤウナ點カラ考ヘマス、御當局ノ説明デハ十分信託會社ノ助成ト云フコトニ付テモ、御注意ガ現レテ居ッタト云フコトデアリマスガ、先刻モ御話ノアリマシタ未拂込ノ増資トカ、各種ノ社債發行ヲ認メルトカ云フヤウナ點ハ、或ハモウ少シ御考慮ヲ煩ハシタ方ガ、信託會社助成ノ趣意ニモ適ッテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ考モ持テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテ、今一應御所見ヲ伺フテ置キタイト思ヒマス

○黒田政府委員 滿洲等ノ御話ガゴザイマシタガ、此法律ハ必シモ滿洲或ハ植民地ト云フモノニ直ニ施行スルト云フ考ヲ以テ、實ハ立案シテ居ル譯デナイノデアリマシテ、ソレ等ノ地方ニ施行シ得ル地方ナラバ、之ヲ施行スルトコトガ適當カト考ヘマス時分ニハ、ソレハ其方法ヲ執ルコトニナルダラウト考ヘマス、尙ホ滿洲ノ事件ニ付テ色々御話ガアリマシテ、ソレ等ノ地方ニ於テハ今日所謂信託會社ガ相當活動シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ今日ノ信託會社ハ此業法ニ依ッテ立タナケレバナラス、從來ノ信託會社トハ多少觀念ヲ異ニシテ御考ヲ願ヒタイト考ヘルノデゴザイマス、今迄ハ所謂信託會社ト申シマシテモ、御承知ノ通り所謂此法律ノ觀念ニ依リ信託デナイ、各般ノ仕事ヲシテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ仕事ガ適當ナ地方デアリマスレバ、ソレ等ノ仕事ノミヲ目的トシテ會社ヲ組織スルト云フコト

ハ、是ハ自由デアアルノデアリマスケレドモ、一度信託業法ニ依ッテ信託ヲ本業トシタ會社ニナリマスレバ、ドウシテモ今迄ト違ッテ、他人ノ財産ノ信託ヲ受ケルコトニナリマスカラ、一方ニ信託事務ト云フモノガ固有ノ事務ニナルノデアリマス、信託事務ヲ固有ノ事務ニ致シマス會社トナリマス、ドウシテモ先ニ危害ヲ及ボスコトハナイト云フ仕事ノ範圍ヲ限局シナケレバナラスト云フコトハ、當然ノ結果デナイカト考ヘマス、資金ノ運用等ニ付キマシテモ、今迄ノ會社デアリマスレバ、所謂會社者ト云フモノモ、サウ云フ會社ニハ本來ノ信託ヲ取扱フコトハ主トシテ居ラヌト承知シテ居リマスガ、又シテ居リマシタ所デ、今日ノ法制上資本ト云フモノハ必ズシモソレ等ノ擔保ニナツテ居ル譯デナイノデアリマス、今度ハ資本ト云フモノハ信託ノ利益ニ對スル擔保ニナリマスカラ、是ハ會社ガ自己ノ事業ヲ經營スルノデナクシテ、其擔保ノ目的タル財産ヲ運用スルト云フコトニナルノデアリマスカラ、確實ニ運用サレルト云フモノハ、ドウシテモ亦必要ガ起ッテ來ルノデアリマス、ソレデ確實ナル擔保アル貸付ニシタラドウカト云フ御話モアリマスガ、サウ致シマスレバ、殆ド制限ガ無クナッタト同ジクナルカラ、殆ド無制限ニ信用ヲ認メルト云フコトニナルト餘リ選ブ所ガナイト考ヘマス、又將來信託ヲ受ケタ資金ヲ運用スル範圍トシテ、或ハ之ヲ海外ニ投資スルトカ、或ハ之ヲ滿洲ニ持ッテ行ッテ、或事業ニ投資スルト云フコトモ、是ハ受託者ノ意思、所謂信託行爲ニ依ッテ其目的ガ定リマスカラ、ソレモ將來行ヒ得ルコトカト考ヘマス、固有ノ資産ハ擔保デアリマスカラ、之ヲ以テ色々ノ仕事ヲスルト云フコトハ、ドウシテモ制限ヲ致サナケレバ其目的ヲ達スルコトハ困難ナヤウニ考ヘルノデアリマスカラ、今度ノ信託會社トナリマスレバ、現在ヨリ多少ノ範圍ガ生ジテ來ルコトハ、本質ガ異ッテ來ル結果、已ムヲ得ナイコトノヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○最上委員 政府委員ニ御尋シマスガ、信託業法ノ十一條ニ不動産ノ買入ヲ御入レニナラス理由トシテ、土地ヲ買フト云フコトハ特ニ入リ易イト云フヤウニ御説明ガアツタヤウデゴザイマスガ、不動産買入ト云フコトニ御不同意ノ理由ヲ、モウ一回御説明ヲ願ヒタイ

○黒田政府委員 資金ノ運用ニ不動産買入ヲ認メマセヌ理由ハ、御尋ノ通りデアリマス、昨日モ御説明申シマシタガソレハ不動産ヲ資金ノ運用トシテ所有スルト云フコトハ、其不動産カラ生ズル所ノ或ハ地代デアハトカ、或ハソレカラ生ズル小作料デアアルトカト云フモノハ、資金ノ運用トシテ、今日ノ狀況ニ於キマシテハ、十分デナイ様ニ考ルノデス、隨テ不動産ヲ資金ノ運用トシテ持ツト云フ場合ハ、常ニ

——殆下常ニ申シテ宜シイガ、常ニ其不動産ノ價格騰貴、殊ニ土地等ニ付キマシテ、其土地ノ價格ノ騰貴ト云フコトヲ目的トシテ所有スルコトヲ事ガ、殆下其目的デアルト考ヘルノデアリマス、サウ云フ風ナ投機ノ目的ヲ持ッテ居ル運用方法ト云フモノハ、是ハ認メルコトガ出來ス、此點ニ付キマシテハ昨日委員長カラモ御要求ガアリマシテ、一寸海外ノ各地ニ於ケル信託會社ノ資金ノ運用ニ關スル制限ニ付テ差上ゲテ置キマシタカラ、御覽ノ願ヒタイト思ヒマス、ソレニモ不動産買入ト云フコトハ多ク認メテ居リマセヌシ、殊ニ概括シテ茲ニハ只今御手許ニ差上ゲマシタガ、亞米利加ノ各州ノ規定ヲ見マシテモ、會社固有ノ資金ヲ以テ不動産ノ買入ヲ爲スニ關シテハ一般ノ州法ハ之ヲ認メル事ナク會社業務ヲ執行スルカ爲メ又ハ業務執行ニ依リテ負擔セル債務ノ全部若クハ一部ノ辨濟ノ爲必要ナル範圍ニ限リ不動産ノ權利ヲ認メルノミ故ニ合衆國々立銀行ガ不動産ノ取得ヲ禁止セラル、ニ比シ多少寛大ナル取扱ヲ受クルモノト謂ハサルヘカラサルモ云々トアテ尙ホ色々ナ州ニ付イテ制限ヲ受ケテ居ルト云フコトデ、此業法ニ於テモ不動産ノ擔保ニシテ流レ込ムコトハ已ムヲ得マセヌ、或ハ營業用ノ不動産ヲ持ツコトモ認メラレマスガ、ソレヨリ進ンデ資金ノ運用ニスルト云フコトハ、亞米利加ノ多クノ州ニ於テ禁ジテ居ル、是ハ我國ニ於テモ殊ニ今日ノ狀況ガ前申ス通りノ狀況デアリマスカラ、之ヲ認メルコトハ不適當デアラウ考ヘマス

○最上委員 土地ノ賣買ハ投機ニ類スルト云フコトデアアルガ、私ノ考ヘデ申シマス、株式ノ賣買コソ、ソレヲヤルニ便利デアラウト思ヒマスガ、土地ニ對シテハ賣買ノミヲ投機ニ類スルヤウニ御説明ニナルト云フノハ、ドウモ能ク勝ニ落チヤウデゴザイマス、殊ニ地方ノ信託會社デゴザイマス、株券賣買ナドヨリハ土地ノ賣買ト云フ方ガ、却テ投機ニ類シナイヤウニ思ハレマスガ、此投機ニ類スルト云フテ、土地ヲドウシテサウ御取扱ニナルノデアリマスカ

○黒田政府委員 地方ノ方デ不動産賣買ガ投機ニ類シナイト云フ御話デアリマスガ、ソレハ地方ノ賣買デハ投機デモナイモノアルノダラウト思ヒマスガ、サウ云フノハ資金ノ運用トシテ目的ニハ副ハナイモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、資金ノ運用ノ目的ニ副ハセヤウト思フト、ドウシテモ投機ニ流レテ來ルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレニ此株式ヲ投機ノ目的デアリマスノ何故認メルカト云フ御話デアリマスガ、株式ニ付キマシテハ、成程御話ノ通りニ投機ヲ目的トスル賣買モ行ハレ得ルノデアリマスガ、又一方ニ此資金ノ運用トシテ、投機ヲ目的トセズ、資金運用トシテ株式ヲ買ッテ持ツト云フヤウナ、資金ノ運用ノ目的ニ副

フ場合モ澤山アルノデアリマス、ソレ故ニ不動産ノ方ハ殆ド大部分ハ投機ノ目的デアアル、併シ株式ノ方ハ投機ノ目的デアアル場合モアルガ、又投機ノ目的デナク、資金ノ運用トシテ眞面目ニ之ヲ持ツト云フ場合モ澤山アルノデアリマスカラ、全然之ヲ禁止シテシマフト云フ事ハ、株式ノ場合ニ於テ投機ノ目的デナク持ッテ居ル場合モ出來ナクナルノデアリマス、不動産ノ場合ハ之ヲ禁ジテモ、資金ノ運用トシテ大シタ支障ヲ來サナイト考ヘマス、株ノ場合ハ大ナル支障ヲ來スノデアリマスカラ許シマスルガ、併シ會社ノ監督ノ上カラ見マシタナラバ、投機ノ賣買ヲシテ居ルト云フヤウナ會社ニ對シテハ、嚴重ナル監督ヲ加ヘマシテ、必要ナル命令ヲ發スルコト云フ風ナコトハ勿論致ス考デアリマス、唯眞面目ニ運用シ得ルコトモデモ止メルト云フコトハ不都合デアリマスカラ、株式ニ於テハ之ヲ認メタヤウナ次第デアリマス

○最上委員 土地ニ對シテハ賣買ハ多ク投機ニ類スルト云フ御話デゴザイマスガ、私ノ考ヘデゴザイマス、地方ノ狀況デゴザイマス土地ノ賣買ハ多ク投機ニ屬サナイモノト認メテ居ルノデアリマス、デアアルカラシテ株式ト同様ニ矢張賣買ヲ許スト云フ事ガ相當デナカラウカト思フノデアリマス、御話ノ如ク株式ニ對シテモ投機ニ類スルヤウナ業務ヲ行フモノニ對シテハ、十分ノ御監督ニナルト云フコトデアアルナラバ、土地ニ對シテモ若シ政府委員ノ御見込ノ知ク投機ニ類スルヤウナコトガ頻發スルナラバ、十分ニ監督サツテモ宜イ譯デゴザイマス、監督權ハ株式ニノミアル譯デハナク、矢張土地ニ對シテモ監督權ガアルノデスカラ、同ジ理由ノ下ニ土地ノ賣買ヲ認メテ、一向御差支ハナイト思ハレルガ、政府委員ノ御考ハドウデアリマスカ

○黒田政府委員 御説ノ通り監督權ハ勿論兩方ニアル考デアリマスルガ、此土地ノ賣買ニ付キマシテハ、只今ノ御話トハ、吾々ハ違フ見解ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレニ今日ノ實際カラ見マシテ今日ノ信託業者ガ土地ノ賣買ヲ目的トシテ居ルト云フモノハ、非常ニ少イノデアリマス、信託業者ノ色々ノ陳情モ機會アル毎ニ吾々ハ聽イテ居ルノデアリマスルガ、此土地ノ賣買ヲ主張サレルノハ極ク少數デアリマシテ、他ノ多クハ餘リ主張ガナイノデアリマス、ソレ故ニソレ等ノ主張サレルヤウナ地方ハ多ク投機ノ目的ニナッテ居リハシナイカト云フコトヲ聊カ考ヘテ居ル次第デアリマス、ドウモ此資金ノ運用トシテ之ガ非常ニ必要ナリト云フノハ、ドウモ餘程ソコニ投機ノ分子ガ入ッテ來ナイト云フ所ハ、完全ニ運用者ノ方ニ於テ目的ヲ達スルト云フコトガ困難ノモノデナイカト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、殊ニ先程申上ゲマシタヤウニ外國ノ立法例ニ於テモ、矢張サウ云フヤウナ見方ヲ致シテ居ルヤウナコトデモアリマスカ

レドモ、大多數若クハ其信託會社ニ缺クベカラザルモノデアルト云フ御話デアリマスガ、多數ノ者ハ必ズシモ希望シテ居ラスト吾々ハ見テ居ル次第デアリマス

○最上委員 委員長……

○指田委員長 今ノ問題ナラバ政府委員ノ意圖モ分ッテ居ルヤウデスガ、如何デスカ

○最上委員 一寸モウ一ツ——今ノ御話ハ此都會ノ信託會社バカリノ御方達カラ陳情ヲ御聽キニナッテ、地方ノ信託會社ノ實情ヲ御聽キナサヌ事ト私ハ思フノデゴザイマス、實ハ自分共地方ノ信託會社ニ關係モゴザイマスルシ、地方ノ銀行ニモ關係ガアリマシテ、地方ノ實情ハ十分知ッテ居ルノデゴザイマス、一寸關係ハゴザイマセヌケレドモ、都會ノ銀行ノ取引ハ、土地ニ對シテハ大變怖ガッテ居ルモノデゴザイマス、併シ地方ニ參リマス、土地ニ對スル取引ヲ歡迎シナケレバ、殆下業務ガ行ハレスト云フヤウナ狀況ニナッテ居ルノデアリマス、ソレト同ジヤウニ信託會社モ地方ノ信託會社カラ土地ノ賣買ヲ除ケレバ、其業務ノ少クモ四割位ハ減ズルコト思フノデゴザイマス、政府委員ノ今ノ御話ハ主ニ都會ノ信託會社ノ御方ノ陳情ヲ御聽キニナツタコトト思フノデゴザイマスルカラ、今少シ地方ノ狀況ヲ御聽取ニナルヤウニ御願シテ置ク次第デアリマス

○鈴木委員 此信託法ノ二十一條「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトデアリマスガ、其管理方法ニ關スル勅令ハ大體ドウ云フ範圍ニ御限定ニナルコトデアリマセウカ、豫メ御用意ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス、是ハ一般ノ銀行業者ニ餘程ノ關係ガアルコトト思フノデアリマスカラ、大體デモ宜シウゴザイマスガ、若シ御説明ヲ承ルコトガ出來マスレバ承リタイト思ヒマス

○池田政府委員 此信託財産デアリマスル所ノ金錢ヲ、如何ニシテ管理スベキヤト云フコトニ付キマシテハ、各國ノ立法ニ於キマシテ大部詳細ナル規定ヲ設ケテ居リマス、其大體ノ趣旨ハ極ク確實ナル放資ヲナサシムルト云フコトヲ土臺ニシテ居リマシテ、寧ろ利益ノ多イト云フコトヨリモ、成ベク確實ヲ主トスルト云フコトヲ以テマシテ、例ヘバ公債ヲ買入レルトカ、或ハ其他確實ナル有價證券ヲ買入レルト云フコト等、其放資ノ方法ヲ細カク列舉スル、斯ウナッテ居ルヤウデアリマス、其列舉シテ居ルモノヲ見マシテモ、大體前ニ申上ゲマシタ通りニ、信託財産ト云フモノハ成ベク確實ニ管理ヲシナケレバナラヌト云フコトノ趣旨ハ明瞭ニ見エテ居ルヤウデアリマス、デコチラニ於キマシテ、其管理方法ニ付キマシテ、勅令ヲ以テ定メマスルコトニ付キマシテモ、大體其趣旨ニ依ッテ定メル積リデアリマス、孰レ大藏省ノ當局トモ御相談致シマシテ、適當ナル現定ヲスル積

リデアリマス

○鈴木委員 現在ノ信託會社ニシテ、海外ニ支店ヲ持ッテ居ルモノ、例ヘバ支那方面デサウ云フ會社ハ種々ノ仕事ヲシテ居ッテ、其地ニ在ル日本人ニ非常ニ便利ヲ與ヘテ居リマスカ、サウ云フ支店等ニ本法ヲ適用シテ、仕事ノ範圍ヲ限局スルコトハ甚ダ大ナル影響ガアルト思ヒマス、勿論多少ノ窮困ヲ感ズルコトハ已ムヲ得マセヌガ、此點ニ付テ別ニ御考慮ニナッテ居ルコトハアリマセヌカ

○黒田政府委員 内地ノ會社ガ海外ニ支店ヲ設ケテ營業スル場合ニ於テハ、内地ノ法律ノ支配ヲ受ケルノハ當然デアリマス、海外デ信託會社ヲ造ル場合ハ、今日直ニ此法ヲ適用スル考デ致シテ居ル譯デアリマセヌ、ソレハ別ノ所管ノ官廳ガアリマスカラ、其處ニ於テ研究シテ定メルコトト存ジマス

○山邊委員 私ハ此信託業法ヲ見マスルト、此中ニ取引所ノ附帶業務ト、信託業法ノ業務ト、同一ノ點ガ多々アリマス、私共ノ考デハ取引所ノ附帶業務ナラバ、取引所法ニ依テ其業務ヲ認メル、ソレカラ信託業法デヤツタ仕事ハ、信託業法ノ業務デアルト云フ御見解デ御取扱ニナルト思ヒマスカ、其點ヲ明確ニ御答ヲ願ヒマス

○黒田政府委員 取引所ノ附帶業務ト信託業法ト、色々類似ノ點ガアルト云フ御話デアリマスカ、ソレハ無イト考ヘマス、附帶業務デアリマシタナラバ、必シモ信託會社デナクモ營業メマスカラ、之ヲヤリマセバ取引所ニ限ラズ何處デモ差支ナイ、即チ類似ト云フ點カラ除カナケレバナラス、問題ハ固有ノ信託業務ト取引所ノ附帶業務ト類似シテ居ルカドウカト云フ點デアリマスカ、取引所ノ附帶業務ハ農商務當局ガ説明セラレテ居ル所ニ依ッテ私ノ承知シテ居ル範圍ハ、ソレハ附帶業務ノ中ニ這入ルモノハアルカモ知レマセヌガ、或種類ノ代理業務トカ、或種ノ貸付ハ這入ルカモ知レマセヌガ、固有ノ信託ニハ這入ラナイト思ヒマス、取引所ガ營業信託觀念ニ適合スルモノナラバ、取引所デヤルト言ッテモ、ソレヲ別問題ニスル譯ニハ往カナイ、信託法ニ依ッテ當然取締ヲ受ケル、隨テ取引所ニ許サレナイ結果ニナルノデアリマス、併シ今迄承知シテ居リマスカ、ヤリ方デハ、所謂固有ノ信託業務ニナラナイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○山邊委員 現ニ中央信託株式會社、中央證券株式會社、是ガ信託ノ名稱デ東京株式取引所ノ直取引ノ決算及清算事務ヲ扱ッテ居リマス、是ハ本案第五條ノ規定ニ這入ルト思ヒマス、サウスレバ純然タル信託會社デ取引所ノ附帶業務ヲヤッテ居ルノデアリマスカ如何デアリマスカ

○黒田政府委員 只今ノ御話ハ私ハ存ジマセヌカラ、五條ノロノ「財産ノ整理又ハ清算」ト云フ中ニ入ルカドウカ明確

ニ御答ハ出來マセヌガ、假ニ入ルトスレバ、是ハ所謂附帶業務デアリマセウ、是ハ信託會社デナクモ出來ル仕事デアリマス、故ニ是ノミヲ營業ムナラバ信託業法ノ適用ヲ受ケナイノデアリマス

○指田委員長 今日ハ此程度ニ致シテ置キマシテ、明日午後一時カラ——今日ハ是デ散會致シマス

午後零時三十一分散會

大正十一年三月七日印刷

大正十一年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局